



ほそかわけいichi
細川恵一 議員

町政の運営取り組みはいかに

答 課題解決を優先

問 熊谷町政がスタートして3年になるが、この間をどのように運営してきたか。

町長 職員には、今在る課題を優先して解決するよう指示し、行政運営に努めてきた。なかでも、早急に対応するよう指示した消防署の移転、古館駅前の整備、オガールD街区の土地利用、小学校の教育環境の検討については、現在、着実に取り組みが進められている。

問 中身の方向性と具体的な取り組みは。



オガールセンター

企画総務部長 消防署移転については、30年度から建設に着手する。

建設部長 古館駅前の整備は、関係地権者に説明が終わり、29年度いっぱいでは基本計画を策定する。

企画課長 オガールセンターは、29年1月から順次開業する。

問 町長が掲げた公約は、どのようになっているか。

町長 全てうまくいっているわけではない。できるだけ町民に理解してもらえようこれから進めていく。

国保・医療と介護の今後は

答 生活支援体制を整えていく

国保制度

問 30年度に制度が大きく変わるが、町や町民に影響はあるのか。

町長 運営主体が町から県に移行される。詳細はまだ明らかになっていないので、影響などは現段階ではわからない。

問 県から示された負担金は、100%納付しなければならぬと思うがどうか。

生活部長 町が収納していた3年分の収納率をみて、納付額が県から示される。

民への説明を早期に行うことが重要では。

町長 社会福祉協議会との協議や介護保険事業者との説明会検討会は随時開催している。住民説明会は今後予定している。

介護予防

問 29年度からの新規事業について、町



通所介護のようす



ほそかわ ひさし 議員
細川 久



バリアフリー化が望まれる紫波中央駅

予算編成

町民の意向は反映されているか

答 声を生かしていく

問 全ての事務事業について、政策評価、事業評価を十分に行い、予算要求しているか。

町長 各課の内部評価と外部評価を行い、次年度の経営方針を定めて実施事業を検討している。

問 町民意識調査の意見要望は、事業や

予算に反映されたのか。調査結果を受けて、新たな移住・定住

町長 施策「SAKE TO WN SHIWAプロジェクト」として、総合戦略に反映、予算化された。

問 「町長への手紙」の意見要望は、具

体化されたものがあるか。

町長 エレベーター設置の要望を受け、「紫波中央駅バリアフリー化事業」として計画に位置付けた。

平成30年廃止への対応は

答 情報通信技術に対応していく

有線放送

問 有線放送廃止へ向け、町での対応は、緊急を要するものは岩手県モバイルメールや、^{*}Lアラートなどで対応する。町内全域への情報発信は、町のホームページをスマートフォン対応にするなど汎用性に考慮した環境の整備を図る。

町長 インターネット回線が無くなる地域への対応は、

問 有線放送廃止へ向け、町での対応は、緊急を要するものは岩手県モバイルメールや、^{*}Lアラートなどで対応する。町内全域への情報発信は、町のホームページをスマートフォン対応にするなど汎用性に考慮した環境の整備を図る。



ただ今、有線放送によるページング放送中

町長 携帯電話回線の利用を検討している。29年10月には、移行相談窓口を開設し対応する。

問 紫波TV放送を、活用する考えは、

企画課長 情報通信に対する行政の関わり方を、慎重に考えていきたい。^{*}Lアラートとは…：公的機関とテレビやラジオなどを扱う情報伝達者などが、災害情報を共有するためのシステム。